

原子力防災対策の 充実・強化に向けた取組



川内原発の防災対策については、これまで、福祉車両の追加配備や避難道路の改善、モニタリングポストや地震計の増設、安定ヨウ素剤のUPZ内の事前配布、環境放射線監視センターの整備等に取り組んできたところです。

本年2月18日には、県タクシー協会と、災害時における人員や物資などの緊急輸送に関する協定を新たに締結しました。

また、今年度から新たに、避難する方へ原子力災害時の避難経路など必要な情報を速やかにお知らせするためのアプリの開発を行うこととしております。

防災対策に完璧や終わりはありません。引き続き、県民の安心・安全を確保する観点から、防災対策の充実・強化に全力で取り組みながら、本県の多様で豊かな自然を活用し、再生可能エネルギーを推進することで原発に頼らない社会づくりに向けた歩みを少しずつ進めてまいりたいと考えております。

川内原子力発電所 放射性廃棄物の管理状況(1・2号機合計)

気体廃棄物



原子力発電所内の空気やガスからフィルタなどにより放射性物質を除去して放出されるもの。今年度8月末現在までの累積放出量は年間放出管理目標値の約250万分の1。

《累積放出量》
6.8×10⁸
ベクレル
(平成31年4月
~令和元年8月末現在)

《年間放出管理目標値》
(1.7×10¹⁵)
ベクレル

液体廃棄物



原子力発電所内で発生する放射性物質を含む排水からイオン交換樹脂などにより放射性物質を除去して放出されるもの。

《累積放出量》
ND
(検出されず)
(平成31年4月
~令和元年8月末現在)

《年間放出管理目標値》
(7.4×10¹⁰)
ベクレル

固体廃棄物



放射性物質が含まれるガスや排水を処理したフィルタなどのほか、発電所内で使用した手袋や雑巾など。専用のドラム缶に保管します。

《貯蔵量》
26,426本
(令和元年8月末現在)

《貯蔵容量》
(約37,000本)
※200リットルドラム缶相当

原子力だより かごしま

NO.136
令和元年度 第1号

第9・10回

鹿児島県 原子力安全・避難計画等 防災専門委員会について

原子力防災講座 **その1**

原子力災害の特殊性・心構え・情報伝達

原子力安全対策連絡協議会
環境放射線調査結果など
原子力防災対策の充実・強化に向けた取組

